

鳥取県立美術館整備基本構想の内容をお知らせします。

A group of children are sitting on a paved ground, painting colorful patterns on the bricks. The patterns are made of various colored rectangles and squares, creating a vibrant mosaic. The children are focused on their work, and there are small containers of paint nearby.

鳥取の未来のために、 美術館を。

県立博物館で開催したワークショップ「落書きばんざい！」の様子

地域に根ざし、県民のアイデアと愛情で運営される「私たちの県立美術館」となり、学校教育・社会教育と連携して、美術を通じた学びの全国・世界に誇れる拠点とすることを目指します。

開館後 40 年以上が経過した鳥取県立博物館は、次のような課題を抱えています。

- 建物の老朽化
- 収蔵庫の過密化
- 駐車スペースの慢性的な不足
- 施設設備の制約による展示の更新や体験型展示の導入の困難
- 県民の作品展の開催が十分にできない など

そこで鳥取県教育委員会では、3つの分野（自然、歴史・民俗、美術）のうちの美術分野を独立させ、鳥取県の新たな文化教育拠点として美術館を整備したいと考えています。

**ひと、もの、こと、
過去、現在、未来、
鳥取、日本、世界、**

**つなげよう、美術館で。
ひろげよう、美術館で。**

いま、なぜ美術館が必要なのでしょうか。

人口減少の時代に地域を再生・発展させるためには、その地域固有の自然風土や歴史文化を守り、さらに磨いていくことが欠かせません。なかでも美術／アートは、過去-現在-未来をつなげ、継承・発信・交流等の取組により、県民の創造性や地域の魅力を向上させるものです。その拠点となる美術館は、子どもたちの創造力を育み、鳥取県の創生を図るために不可欠の社会インフラであり、早急に整備する必要があります。

併せて、その整備に当たっては、学校教育・社会教育と連携しつつ、総合的・多角的な視点で施設の計画、人材配置、人材育成、運営など全般にわたり検討を行い、美術を通じた学びの全国・世界に誇れる拠点とすることを目指していきます。

新しい美術館は、どんな施設になるのでしょうか。

1. 「とっとりのアート」の魅力を知り、大切に守り、誇りを持って県内、県外そして世界へと発信するとともに、より多くの人々に内外の多彩で優れたアートに触れる機会を提供する。
2. 人々が思い思いに楽しみと夢と喜びを見出し、次代を担う子どもたちが優れたアートと出会い、想像力や創造性を育むことができる場所とする。
3. 地域に根差し県民のアイデアと愛情で運営される、「私たちの県民立美術館」となる。
4. アートによって街を目覚めさせて文化的感性の高い賑わいのある地域づくりに貢献する。
5. 鳥取県創生の拠点となるよう、大胆かつ柔軟に新たな可能性を求め、次代に向けて新たな地平を拓くことを目指す。

新しい美術館では、 どんなことを行うのですか。

県立美術館を核に、県下各地の様々な文化施設を結びつけたネットワークを形成し、文化の創造・発展効果を全县に広げていきます。

■ 鳥取県にゆかりのある美術作品を中心に収集し、保管します。

- 本県にゆかりのある作品を中心に、さまざまな作品を体系的・計画的に収集します。
- 収蔵作品をジャンル別に紹介し、いつでも美術作品が鑑賞できる環境を整備します。



前田寛治の作品を中心とした展覧会「昭和の洋画を切り拓いた若き情熱」会場／2016年



「ベルギー王立美術館コレクション」展 会場の様子／2009年

■ さまざまなジャンルの展覧会を開催します。

- 国内外の著名作家による展覧会を開催し、鳥取と日本、世界をつなげる機会を提供します。
- 鳥取県ゆかりの作家の展覧会を開催し、文化的個性の醸成に寄与します。
- マンガやアニメなど様々なポップカルチャーについて積極的に紹介します。
- 館内のフリーゾーンや野外のオープンスペースで気軽に美術に親しめる環境をつくります。
- 通常の展示が観覧しにくい方（障がいのある方、車椅子を利用される方、乳幼児と保護者など）に配慮した展覧会を開催します。

■ 多彩なプログラムによる子どもたちのための活動を行います。

- ワークショップルームを設置し、体験しながら学べるプログラムを充実させます。
- 家族や子どもを対象とした美術鑑賞のプログラムを提供します。
- 学校教育での利活用を促進するため、その際の学芸員によるギャラリートークや対話型鑑賞への対応力を強化するとともに、県内の小学校3年生全てを、年に1回美術館に招待するなど、児童生徒の来館を促進する事業を実施します。
- 移動美術館の取組を拡充しつつ様々なアウトリーチ活動を展開し、各学校の児童・生徒や遠くまで出かけ難い高齢者、障がい者等を含む周辺住民の皆さんがより身近な場所でアートと触れ合えるようにします。



ワークショップ「線の森を探検-ビニールトンネルに入っちゃお!」の様子／2013年



高校生キュレーターによるギャラリートーク／2015年

■ 収集資料をもとに館外の研究者等との調査や研究を行います。 ■ 地域・学校・県民と協力して、様々な事業を行い、美術を通じて学びの拠点づくりを進めます。

- 収集した作品や資料に関するデータベースを構築し、館外の研究者や一般の方々に広く情報を提供します。
- 県民ギャラリー等、県民の創作発表等の場を提供します。
- ボランティアスタッフと共に、資料調査や普及活動を実施します。
- 美術サークルやNPO団体などが行うものを含め、美術系古本市、アート系フリーマーケット、絵画教室・陶芸講座等を開催します。
- 国内外から作家を招き、専用のスタジオで制作・発表を行うアーティスト・イン・レジデンス事業を実施します。
- 学校の授業に美術館の学芸員や資料を活用することや美術館で授業その他の学校行事を行うこと等について相談を受け、必要な支援を行うとともに、美術を通じた学びの方法等を研究し情報を蓄積する「美術ラーニングセンター」的な機能を美術館に持たせます。

美術館の施設設備や運営費等の試算について

機能と施設設備

現在の施設では十分に果たせなくなっている収蔵展示機能や、地域や県民との協働・連携を促進するための機能を充実させるため、作品の保存・展示に最適な環境を維持できる設備を備えた収蔵庫や展示室を拡充したり、ワークショップ専用ルーム等を新たに設けることを考えています。そのような施設は、延床面積が9千～12千㎡ほど必要で、建築工事費は60～100億円程度かかると想定されます。これを建設することにより98～164億円の経済波及効果も見込まれます。また、高齢者や子どもたち、障がい者なども利用しやすい施設として整備していきます。

運営費

新しい美術館は、1年を通じて多様な展覧会や各種イベントを開催することで、年間10～20万人の方々にご利用してもらいたいと考えています。そのために必要となる経費を現在の運営費に加算し、新たな美術館の運営収支を試算すると、毎年の運営費総額は3.2～3.9億円で、従来の美術分野運営費の1.3～1.6倍となります。こうした運営によって12～16億円の経済波及効果も見込まれます。

今後、この運営費等をできるだけ縮減するため、美術館の整備運営に民間の資金やノウハウ等を導入する方法（指定管理、PFI等）も検討します。



館内設備イメージ例（キッズスタジオ、金沢21世紀美術館）
画像提供：金沢21世紀美術館

建設場所について

新しい美術館は、「様々な人が気楽に訪れることができること」、「必要な施設がより安価に整備できること」といった条件を満たす場所に建設しなければ、機能を十分に発揮して設置目的を達成することはできません。そのため、市町村にそうした条件に合う場所を候補地として推薦してもらった上で、県民意識調査結果等も踏まえつつ、それを専門的、客観的かつ総合的に評価検討し、最も適していると考えた倉吉市宮ラグビー場（倉吉市駄経寺町2丁目3番4ほか）を建設場所とすることにしました。

* 施設・設備のモデル（延床面積の試算を含む）、建築工事費、運営費の試算等は、皆様に美術館の在り方や必要性等を考えていただくための目安として、他県施設を参考に一つのモデルを想定して試算等をしたものであり、決定された整備内容等を示すものではありません。

新しい美術館ができると、 私たちの暮らしは、どう変わるのでしょうか。

県立美術館が中心となって、県内の他の美術館、その他の文化施設との間で協力・連携のネットワークを構築し、ハード・ソフトの両面でその中核拠点となって、県内のどこに住んでいても新しい美術館のサービスを利用できるようになります。美術館で、多くの鳥取ゆかりの美術作品に日常的に触れることができるようになり、地域への誇りが育まれます。国内外の優れた美術に今よりも多く出会えるようになり、多様な文化への感受性が培われます。そうして私たちの暮らしは、豊かで潤いのあるものとなり、地域社会の魅力も高まって、県外との交流も進みます。また、次代を担う子どもたちが本物の美術に出会い、魂を揺さぶられる体験をすることで、豊かな個性と創造力をもった人材が育ちます。彼らに支えられて鳥取県の未来が切り拓かれていくのです。

さあ、はじめよう、みんなの美術館づくり。

【お問い合わせ】

〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2丁目124 鳥取県立博物館 美術館整備準備室
TEL：0857-26-8042 FAX：0857-26-8041 <http://www.pref.tottori.jp/museum/>

 鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

2017年4月作成